



コミュニティだより



発行者：新津中央コミュニティ協議会（新潟市秋葉区新津本町1-2-39 TEL 0250-24-4219 Fax 0250-24-4229） 発行人：太田清志



特集号

～秋葉区地区懇談会報告～



(写真撮影：文化教養部長 吉田 信威さん)

- ◆ 平成23年7月13日(木)の午後7時から、新津地域交流センターにおいて、新津中央コミュニティ協議会と秋葉区役所との秋葉区地区懇談会が開催されました。この地区懇談会は秋葉区役所が年1回、秋葉区内にある11のコミュニティ協議会それぞれとの意見交換を目的に行っているものです。当日は区役所側から小黒区長さんをはじめとする各課の課長さん等14名が、また新津中央コミュニティ協議会側からは常任委員、運営委員の28人が出席しました。
- ◆ 小黒区長さんのご挨拶、当コミ協の活動紹介の後、区役所側から①平成23年度秋葉区の主な事業②新潟市立小中学校の適正配置基本方針③新津図書館改築計画についての説明がありました。この後、意見交換に入りましたが、延べ14人の出席者から多岐にわたる質問・意見が出されるなど例年に増しての活発な懇談会となりました。
- ◆ 遅くなりましたが、区役所が作成した議事録の要旨に基づき、この時の懇談会の概要を地域の皆様にお知らせいたします。

●●● 平成23年度 秋葉区地区懇談会議事録要旨 ●●●

【発 言 内 容】	【回 答 内 容】
(1) 文化会館などの建設にあたり、利用者の声をどのように聞いて、反映させているのか。	(地域課長) 文化会館や総合体育館について市民による検討会を開いて、要望に最大限応えられるよう対応しました。
(2) 引きこもりの子どもの相談施設が秋葉区にあるのか。また、既に中学校を卒業している者対象の専門の施設はあるのか。 	(教育事務所長) 中央区・西大畑町に教育相談センターがあり、市内在住・在勤、市内の学校に在籍する二十歳未満青少年及びそれらの保護者や関係者を対象に不登校等の教育相談に応じています。 また、秋葉区にはレインボールームがあり、主に小・中学生を対象に、教育相談に応じています。
(3) 子どもの数や学校の規模が10年後どれくらいになるか把握しているのか。	(教育事務所長) 現時点では、平成29年度まで推計しており、その後数年は同じように推移していくものと考えています。
(4) 新津川に油が流出しているが、対策は考えているのか。 	(区民生活課長) 新津丘陵と草水町の山手から油が出ています。現在、水と油を分離して、油を除去する装置（オイルピット）を設置して新津川に流入しないようにしていますが、自噴の箇所にて全て設置できないため、一部が新津川に流れている状況です。 職員が油の出ている場所を見回り、新津川に流入しないよう対策を行っていますが、完全に流入を止めることはできません。 現在は水質悪化を招かない、河川や田んぼに油が流れ込まないを目標に対策を行っています。
(5) 学校の適正配置について、地域の合意という場合の地域とはどの範囲を指すのか。	(教育事務所長) 小規模校の中で、特に複式学級が見込まれる学校には、地域にお声かけし、適正規模について相談していきます。地域といってもいろいろな人がいると思うので、どのような人がいいのかは、地域に入ってから相談させていただきます。 地域については、例えばコミュニティ協議会、PTA、学校などがありますし地域の実情に応じて考えていきます。
(6) 地域の子どもが利用していた市民プールがなくなり、プールが利用しにくくなっている。また、監視をする保護者対象の救命講習会について、平日夜間の開催はできないのか。 	(地域課長) 区内で子どもが利用できるプールは、B&G海洋センターにありますが、7月16日からバスを区役所から運行しますので、ご利用していただきたいと思います。 (消防署長) 平日夜間の講習について、夜間は勤務の関係から出勤している職員が少なく、緊急出動あった場合には講習会に関われなくなる可能性があることから、夜間の開催は行わないこととしております。

【発 言 内 容】	【回 答 内 容】
<p>(7) 秋葉地内の旧福祉会館跡地を調整池にする工事の見通しは。また、調整池を整備しただけでは、全体の洪水の一部が緩和されるだけである。このことを踏まえた調整池の長期的な計画はあるのか。</p> 	<p>(下水道課長)</p> <p>現在、取り壊し工事の準備を行っています。当初、事業期間は23年度からの2か年でしたが、3か年で行う予定となりました。業者が決まりましたら地域への説明を行います。</p> <p>調整池の整備について、今回の調整池ですべてを解決できるものではないので、今後も引き続き対策を考えていきます。</p>
<p>(8) 秋葉区の賑わいをどのように取り戻すのか。区役所職員が元気でないと、賑わいのあるまちにつながらない。元気のあふれる秋葉区をつかってほしい。</p> 	<p>(区 長)</p> <p>全庁的にさわやか運動を実施していますが、まだまだ足りないというご指摘なので、職員が元気になるようさらに努力していきます。</p> <p>秋葉区全体のにぎわいを考えるとき、これからは高齢社会とつながると思います。今までのまちづくりは車で行ける所や大勢で行ける所ということから、文化・観光施設を作ってきた経緯があります。鉄道資料館は商工会議所が中心となり駅に持ってくるという構想を練っています。高齢社会の問題も、住んでいる人が車でなくても病院や買い物に行けるまちづくりにつながります。これからは車に依存しない社会づくりが重要な施策と考えています。</p>
<p>(9) 新津川に油が流れるのは、古井戸からではなく、石油の備蓄のあったところに残油があって、そこからしみ出ているのではないか。区としてもしっかり対応していただきたい。</p> 	<p>(建設課長)</p> <p>日宝町には昔、石油の備蓄箇所がありました。当時どこにどのような施設があったか確定しないと、新しい土との入れ替えが難しいところです。現在油のしみ出ている箇所には、県の方で矢板で囲み吸着ネットをはっています。地域でタンクの位置などが分かる人がいれば教えていただきたいと思います。</p>
<p>(10) 秋葉区から県議と市議が出ているが、区役所と政官民との協議の場はあるのか。</p>	<p>(区 長)</p> <p>5人の市議会議員とは定期的に意見交換を行っています。議員との意見交換の中で必要であれば、県議の方にも参加いただくことは可能です。</p>
<p>(11) 第一小学校の校舎改築説明会では、エレベーターを校舎の4階まででなく、3階止まりとのことであった。4階までにしていただきたい。</p> 	<p>(教育事務所長)</p> <p>第一小学校の改築に当たっては、学校側やコミュニティ協議会、PTAなどからなる検討委員会を開き協議してきました。5月の地域説明会で、教育委員会施設課からは「エレベーターは主に給食の運搬用なので、普通教室のある3階までにしました。」という回答でしたが、学校側もそれで良いという受け止めでありました。従ってこの件については理解を得られているものと考えております。</p>

【発言内容】	【回答内容】
<p>(12) 下興野町は、災害時避難所に第三小学校が指定されているが、非常に遠いと感じる。</p> <p>今年から選挙の投票会場を北上に変更してもらったが、避難所も変更していただきたい。</p> 	<p>(総務課長補佐)</p> <p>避難所の見直しは、後日状況を確認したうえで回答します。</p> <p>【文書回答】</p> <p>市では、住所地ごとでの避難場所の指定はしておりませんが、災害発生時の安否確認や住民同士の助け合いが円滑に行われるよう、町内会及び組単位での避難をお願いしているところです。</p> <p>ただし、避難所まで著しく時間を要するなど地域ごとの事情もあると思われるので、災害発生後の安否確認や支援体制を含め、各組織で十分話し合いのうえ、スムーズな避難が可能となる避難所を選択してください。</p>
<p>(13) 要介護者、災害弱者の避難先として小学校とかでなく、プチ避難所が必要ではないのか。プチ避難所の事前提示も必要でないか。</p>	<p>(健康福祉課長)</p> <p>福祉避難所の開設は、災害の状況などによります。その都度の対応となりますが、福祉避難所という配慮は必要であり、事前提示については今後検討します。</p>
<p>(14) 本日の地区懇談会の内容をコミ協地域内の住民の皆さんに周知する必要があると思う。議事録は作成されるのか、また議事録は後日いただけるのか。</p> 	<p>(地域課長)</p> <p>議事録は作成しています。必要であれば議事録を差し上げますので、地域の皆さんに周知していただきたいと考えています。</p>
<p>(15) 災害のことが区ビジョン基本方針に触れていないが防災意識が低いのではないのか。</p> <p>災害時には、各町内会が区役所と連絡をとり対応するしかない。どのように動けばよいのかなどの情報を手に入れたい時、どうすればよいのか。</p> 	<p>(区 長)</p> <p>3. 11東日本大震災では、再認識しなければならないことがありました。災害が起きて2から3日地域で頑張ってくれという状況が発生することがあります。安全な避難場所であるかどうかを考えていく必要があり、現在の避難計画の不十分さについては認識していますので、一緒になって考えていきたいと思えます。</p>

【編集後記】

コミ協だより第11号（臨時号）をお届けします。10月半ばまでには編集を終える予定でございましたが、予定は未定のことばかりで、結局お手元に届くのが11月となってしまいました。区の担当者から議事録要旨を9月7日にいただいたのですが、第10号の編集作業と重なり、賞味期限切れ気味となりましたがご勘弁下さい。地区懇談会の内容とともにその場の雰囲気や些かでも感じ取っていただけたらありがたいです。

(注) 新津中央コミュニティ協議会の各種事業は、主に新潟市からの補助金により賄われています。